



2019年ラグビーワールドカップ
2020年東京オリンピックと
世界的なスポーツイベントが
続けて行われます。
GO! 剛! NEWS!! 8号は
スポーツについてです。

GO! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第8号

●●●●● 子どものスポーツ環境の整備を ●●●●●



宗像の子どもは「学力は高く、体力は低い」という調査結果が出ています。

全国的に外遊びの減少や生活様式の変化などにより体力低下が続いていますが、宗像は全国平均をさらに下回る傾向があり、体力の向上が必要です。

小学校期はスポーツに触れるきっかけとなります。学校内でのスポーツ機会の質と量の向上のため、土曜日授業による地域と連携したスポーツ推進、市内3大学による官学連携の体育授業、サニックススポーツ振興財団のタグラグビーやトヨタ自動車陸上競技部の記録会といったプロスポーツチームによる産官連携の推進を提案しました。

人間形成の節目となる中学生期のスポーツは部活動が主体となり、体力だけでなく生きる力そのものを向上させます。この部活動の課題が顧問の先生方の負担の大きさであり、一つが体力技術的な負担、もう一つが放課後や休日の部活動指導による時間的な負担です。

この負担感を軽減するために、地域と協働した外部指導者の育成登用を推進します。

スポーツは、少子高齢化や地域社会の空洞化といった社会環境の変化に対応する役割を持ち、理想の社会を目指すため状況を変える大きな力を持つものです。スポーツの多面的な価値を活用するためにも、子どもに可能性を与え、夢を具現化出来るようなスポーツ環境を大学、企業、地域と一体になり整えていきます。

また、スポーツ資源の豊かさは宗像の個性です。教育や観光、地域活性化など多方面に活用した宗像のスポーツのかたちを考えていきます。

●●● 「宗像サニックスブルース」への名称変更が ●●● 快諾されました!

2020年に世界最大規模のスポーツイベントである東京オリンピック、2019年に3番目の規模のラグビーワールドカップが行われます。

世界三大スポーツイベントの二つが連続して日本で行的ることが決まり、スポーツ基本法が制定され、国家戦略としてスポーツに関する施策が推進されています。

また、オリンピックの競技種目でラグビー7人制が行われることもあり、2年続けて大きなラグビーのムーブメントが起こり、国を挙げて盛り上げてく機運が高まっています。

このような社会状況の中、「福岡」から「宗像」に名称を変更したプロラグビーチームが誕生すれば、時流が追い風となり、大きな効果が期待されます。

全勝優勝によるトップリーグ再昇格決定を受け、昨年の9月議会で提案した名称変更を3月議会で再質問したところ、「宗像サニックスブルースへのチーム名称変更については快諾を得た。手続、経費等について協議を進めている」という市長回答を得ました。

プロスポーツチームは経済効果、地域イメージの向上、住民アイデンティティーの確立、スポーツ参加推進といった地域振興効果があり、公共的な存在と位置づけられます

また教育面ではトップアスリートとの交流は視点の向上や夢の具現化へつなげります。

宗像には幼稚園からシニアまで数多くのラグビーチームがあり、タグラグビーの普及活動やスポーツイベントといった地域活動により、ラグビーが根づいてきています。

プロスポーツチームをシンボルとして、ラグビーをキーワードにしたまちづくりを行うことでスポーツ全体の振興をすすめていきます。

一般質問の会議映像は市役所HP【<http://www.munakata-city.stream.jfit.co.jp/>】から見るができます。

また、日々の活動はfacebook【[facebook.com/goyo4da](https://www.facebook.com/goyo4da)】にて。ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります!

●●● 吉田ごう議員活動ダイジェスト ●●●



平成26年 2月 社会常任委員会にて宗像市総合計画の所管事務調査を行っています。5年、10年先の宗像のかたちを議論します。広報調査特別委員会では議会でのICT活用でパソコン、タブレット型端末の持ち込みについて議論を行っています。



3月 第5回定例会が行われました。議会広報調査特別委員会では、議会のICT活用としてタブレット端末の利用を調査しています。常任委員会ではパソコンやタブレット端末などの使用が認められ、本議会の一般質問ではプロジェクターの試験的使用を行いました。議会は会議資料は紙、連絡は電話かFAX、と旧来の手法で行われています。業務効率を上げ、双方向の情報交換が出来る議会改革の一歩になればと思います。